神情協会報
KIA Wave キアウェーブ
KANAGAWA INFORMATION SERVICES INDUSTRY ASSOCIATION
No.120
2022/11/18

神情協事務所が移転、会議室等もご活用ください

2022年10月11日（火）

タクエー横浜ビルが築55年を経過し耐震基準から建て替えることとなり、下記場所へ事務所を移転しました。

・新住所　221-0835　横浜市神奈川区鶴屋町3-32-13
第2安田ビル8階

※電話番号・FAX番号に変更はございません。

お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

会議室は平日9時30分から17時まで会員様限定で利用いただけるようになりますので、ご活用ください。

■会議室使用について

利用日の3ヶ月前より3日前までの間に、事務局に空き状況を確認し「神情協会議室利用申込書」を事務局へ提出願います。

	広さ	収容人数	使用料金
A室	37.00㎡	20名	2,000円／時間
B室	38.31㎡	20名	2,000円／時間
A室＋B室	75.31㎡	40名	3,000円／時間
設備：85インチディスプレイ（壁掛け）、ホワイトボード、Wi-Fi装置			

※会議室使用の詳細は「神情協事務局会議室の会員利用基準」を確認ください。テレワークやWeb会議などに活用いただけるリモートブースは空いていればご利用可能ですので、お気軽にお声がけください。事前に電話予約も承ります。

＜事務局連絡先　kia@kia.or.jp　TEL045-316-2244＞

リモートブース

打ち合わせコーナー

会議室 A+B

『副業制度導入にあたっての実務対応と注意点』セミナー

開催日：2022年6月24日（金）
労働福利委員会

労働福利委員会メンバーである小島弁護士に講演していただきました。働き方改革に伴い国が積極的に副業を推進している状況の中、とても興味深い内容の講演となりました。

就業規則の整備や、労働時間の考え方、情報漏洩のリスク、保険制度との関係など、より具体的に説明をしていただき大変参考になりました。また、過去の裁判例やよくある質問と回答で、とてもわかりやすい講演でした。

実際に導入するとなると、自社の労働時間と他社での労働時間を合算する必要があり、他社での労働時間を正確に把握しなければなりません。かなりハードルが高いのでは、という印象を持ちました。副業をすることで長時間労働となり、健康を害し本業に影響が出てしまうことがないようにしなければなりません。社員の健康管理がとても難しくなると感じました。

終了予定時間を過ぎても参加者からの質問が多く、各社の関心がとても高いということを実感しました。

国は積極的に副業を推進しておりますし、今後避けて通ることの出来ない重要なテーマです。就業規則の整備など具体的な対策を教えていただき、大変有意義なセミナーとなりました。

株式会社アプリコット　曽根和茂

第65回神情協ビジネス・フォーラム

開催日：2022年7月20日（水）
企業経営委員会

第65回ビジネス・フォーラムは、神情協単独でホテルプラムで開催されました。

会場参加者75名、Zoomによるオンライン参加者6名の事前申し込みがありましたが、コロナウィルス感染拡大の影響で数名の当日キャンセルとなりました。神情協坂井会長の挨拶で第一部が始まり、商談発表は株式会社バリュー・エージェント（IT業界向けサイバー保険情報提供）、特定非営利法人LPI-JAPAN（ITベーシック学習教材の紹介）、株式会社 東計電算（クラウド型勤退管理システム紹介）、株式会社 日本エイジェンシー（企業型確定拠出年金について）、鈴与シンワート株式会社（オンラインでわずか1分で補助金・助成金の診断が出来る）、一般社団法人JAICO（JAICハラスメント相談窓口案内）の全6社により発表が行われました。福利厚生関連の保険商材の紹介2社、ハラスメント防止措置等の労務関連1社、IT人材教育関連1社、パッケージソフト1社、補助金活用1社と、幅広い内容で会場内参加者は興味深く真剣に聞き入っていました。

第二部は、コロナウィルス感染拡大しつつあるため、前回同様に着座式・手酌スタイルでの懇親会となりました。当面、立食式への移行は困難となりそうです。守屋委員長より新規会員3社、ゲスト企業1社の紹介があり、その後名刺交換会を実施しました。冒頭の坂井会長のあいさつで「やはりビジネスはリアルでface-to-faceが基本である」とのお言葉通りに、リアル開催は活気あるビジネス・フォーラムの場となりました。

株式会社HOKUTO　石村龍二

「大学向けSE講座」協会内講師間情報交換会

開催日：2022年9月6日（火）
SE講座特別委員会

協会理事・SE講座講師併せ27名、オブザーバ2名参加して協会内SE講座講師による情報交換会がWeb形式で開催されました。会議の冒頭、坂井会長から「SE講座は学生に業界の魅力を直接伝える良い機会であり、人材確保するためにも引き続き頑張って欲しい」と挨拶がありました。

今年度新規講師の方から自己紹介と意気込みをいただき、前期実施講座の報告、後期に向けた周知事項の確認を行いました。また、女子大学を含め実施大学拡大策の説明、来期からの講座カリキュラム変更について説明があり、参加講師の皆様に賛同をいただきました。続いてSE講師から担当した講座の実施状況の報告や、意見交換を実施しました。「今までリモート授業であったが、今期から対面授業に切替り学生の反応が新鮮で良かった。」「学生も対面授業に飢えている感じが伺われた」「学生を身近に感じる講義が出来た」一方で「リモート授業に比べ学生からの質問が出なくなった」等々の意見がありました。小川名委員長から「学生と相互会話が出来る様に工夫と改革しながらより良いSE講座にしたい」とのお話があり、有意義な情報交換会となりました。

最後に板橋副会長から「大学側からの要望や講師からの意見を聞き、SE講座を通してソフトウェア産業の位置付けを高めて行って欲しい」とのお話しがあり、和やかな雰囲気の中、情報交換会は終了しました。

テクノスクエア株式会社　渡部雄三

「伝わりやすい文章の書き方」セミナー

開催日：2022年8月25日（木）
広報委員会

広報委員会対外事業第三弾として「伝わりやすい文章の書き方」をテーマに、Zoomミーティングによるオンラインセミナーを開催し、100名を超える方々にご参加いただきました。

講師は、長年マニュアルライターとしてご活躍されてきた株式会社CIJ執行役員 伊藤恵津子さんです。伊藤さんには、明日からの文章作成のヒントとなる「ライティングの基礎知識」と「文章を書く際のコツ」についてお話しいただきました。

新型コロナウィルス感染拡大後、リモートワークの浸透により対面で話す機会が減少し、メールやチャットなどの文章によるコミュニケーション機会が増えました。しかし、物事を意図した通りに文章のみで伝えることは大変難しいものです。「誤解を招かないように」「失礼がないように」「適切かつ簡潔に」と様々なことに想いを巡らせながら、文章とにらみ合う毎日を過ごしている人も多いのではないでしょうか。

社会人になってから日本語を講義形式で学ぶ機会はありませんでしたが、本セミナーを拝聴し、自分がいかに無駄な言葉を重ねているかを気づくと同時に、いかに言葉が足りていないかにも気づきました。

伊藤さんが大切だとお話された「読み手に負担をかけずに情報を伝えたいという思いやり」を意識し、自分も相手も、日々の仕事をより気持ちよく進められるよう、本セミナーで得た学びを実践していきたいです。

株式会社ソフテム　林　悠依

【参考問題】

実際にセミナーで使われた例題です。
下記の文章をわかりやすく修正してください。

問１：処理が終了するまでは、電源を落とさないでください。
問２：私は夏休み中、毎晩自宅で佐藤さんが執筆した本を読んだ。
問３：これは誰が見ても明らかに「素晴らしい」と絶賛するような読みやすい文章だ。
問４：カーソルを右に動かします。
問５：台風が近づいている。早めに台風への備えをしておきます。

【解答】

問1：処理が終了してから、電源を落としてください。
（解説）してほしいことが肯定文で書かれていると、読み手は迷いなく実行できます。
問2：私は夏休み中、佐藤さんが執筆した本を毎晩自宅で読んだ。
（解説）修飾語は修飾する語句に近づけます。
問3：これは誰もが絶賛する読みやすい文章だ。
（解説）丁寧に細かく表現すると、詳細が伝わる一方で、主役の単語が埋もれます。不要な語句はごっそり削ります。
問4：カーソルを右へ動かします。
（解説）「に」は動作の到着点を示し、「へ」は方向を示します。
問5：台風が近づいています。早めに台風への備えをしておきます。
（解説）文体を「です・ます調」で統一します。

情報系専門学校との情報交換会

開催日：2022年9月2日（金）
産学連携委員会

2022年度情報系専門学校との情報交換会がホテルプラム横浜で専門学校13校23名、神情協会員46社63名の参加を得て開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会場参加とWeb参加によるハイブリッド型の情報交換会となりました。

板橋副会長より「採用・就職活動が様変わりしている状態だが、学校が個別に抱えている問題をお聞かせ頂き、より良い採用・就職活動につなげていきたい」とのご挨拶があり、また勝山産学連携副委員長からは、「学生と企業の間でミスマッチが起きない採用を目指して、学生ITコンテスト、学内合同企業説明会や業界セミナーの実施、神情協合同企業説明会等の事業活動を行っている」との説明と、学生への周知のお願いがありました。

引き続き、青木産学連携副委員長の進行のもと、各専門学校より就職状況やオンライン対応状況、神情協への要望・意見などについて説明が行われ、「DX化の景況なのか、一般企業からの募集が増えている」「転勤の無い会社に入りたい」「入社後の研修やフォローが手厚い会社に入りたい」「アプリ開発企業が人気」など、今後の採用活動に生かせる貴重なお話を聞くことができました。最後に中山副会長から「各学校から率直なご意見を頂いて大変参考になった。予定していた懇親会は中止となったが、企業側の採用活動については変更となった名刺交換会で情報交換をして頂きたい」との言葉をいただき閉会となりました

日本データスキル株式会社　豊田　昭

懇親船釣り大会

開催日：2022年7月9日（土）
労働福利委員会

懇親船釣り大会が、今回も金沢八景の船宿「蒲谷丸」で開催されました。まだまだ新型コロナの状況下ではありますが、成功裏に開催できた昨年の方法を踏襲し、受付時の検温をはじめ感染防止策を徹底しての開催です。船上での釣り座の間隔を広くとり、参加者も47名にとどめました。また、個別に受付を済ませた後はそのまま乗船する開会式レスの形で実施としました。3隻に分乗し安全対策の確認や大会ルールの説明のあと、船長からの釣り方レクチャーを受けて出港。今回も昨年大好評だった「東京湾の金アジ」を水深20m前後のポイントで狙う数釣りゲームです。参加者のうち約3割は自前のタックルを用意して臨む腕自慢の太公望たちですが、逆に7割の方々は船宿のレンタルセットを利用するエンジョイ・フィッシング派の参加者です。

直前の台風で開会が危ぶまれましたが、当日は薄曇りで暑くもなく、風も波もない絶好の釣り日和となりました。海況が良すぎたせいか爆釣！とはいきませんでしたが、ぽつぽつとアタリを拾いながら、それぞれに夕飯のおかずを確保して昼前に帰港しました。優勝はアジ13尾の齋藤さん。常山名誉会長は大マゴチを釣り上げて特別賞に輝きました。大会

特別賞

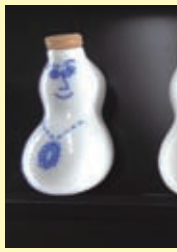
をお願いした蒲谷丸さんからは女性参加者全員にレディース賞として「とろワカメ」が贈られました。株式会社マルシン漁具様からも協賛品を多数いただき、小学生には子ども参加賞、惜しくも入賞を逃した皆さんにも「空くじなし」の抽選による各種参加賞で、マルシン漁具の釣竿セットや特注ボールペンなどが提供され笑顔での解散となりました。（ちなみに、入賞者4名中3名の方々は、レンタル・タックルでの参加者です。次回の優勝者はあなたかも？）

株式会社CIJ　大和田勝

優　勝（アジ13尾）	齋藤　寛さん	株式会社データプロセスサービス
2位（船トップ賞）	小谷　紗耶香さん	シンポー情報システム株式会社
3位（船トップ賞）	前山　浩志さん	デジタルコム株式会社
特別賞（マルシン漁具賞）	常山　勝彦さん	株式会社ソフテム

崎陽軒横浜工場見学レポート

快晴の天気の中、18人の参加者で崎陽軒横浜工場を見学しました。崎陽軒のシウマイ弁当といえば、神奈川県民にはなじみの深い弁当です。内容は崎陽軒の歴史VTR、シウマイの製造工程見学、しょう油の「ひょうちゃん」展示見学、駅弁の歴史、シウマイ弁当のひみつ、弁当の箱詰めライン見学、できたてのシウマイ・シウマイ弁当のおかず・中華菓子の試食と盛りだくさんの内容でした。IT技術を駆使して自動化することがクローズアップされる中、弁当の箱詰め工程を人手で実施していることには驚かされました。保存のきくシウマイの製造は可能な限り自動化されていましたが、弁当をおいしく提供するための創意工夫の末、機



第10回委員会対抗ゴルフ選手権大会

開催日：2022年9月21日（水）
企業経営委員会

第10回委員会対抗ゴルフ選手権大会が、富士小山ゴルフクラブで神情協の8委員会と正副会長ブロックの全9チーム総勢50名により開催されました。天候も心配でしたが、日頃の行いが良かったのか、雨も降らずラウンドすることができました。懇親会では順位の集計に時間がかかるといったトラブルもありましたが、大変盛り上がったコンペとなりました。ベスグロ、ネットともに優勝は横浜市交流委員会が飾りました。その他成績は以下の通りです。

2位労働福利委員会、3位産学連携委員会、4位教育研修委員会、5位川崎交流委員会、6位技術委員会、7位女性活躍ダイバーシティ委員会、8位企業経営委員会、9位正副会長ブロック。

協栄企画システム株式会社　佐藤大資

開催日：2022年9月9日（金）
技術委員会

械よりも人手で箱詰めする方が良いと結論に至ったとのこと。東京―大阪間の電車の行程のうち東京から近い横浜という不利な立地で、特色のあるものを開発、認知度をあげる数々の工夫で今のポジションを築きあげた歴史VTRは興味深いものでした。

中でも横浜駅ホームでシウマイ弁当の売り子「シウマイガール」が直接電車の窓越しに販売したことがキャンペーンガールの走りであったことや、飛行機を利用した無料引換券配布、冷たくなってもおいしい弁当の開発は当時ではセンセーショナルな工夫だったのではないでしょうか。身近なシウマイ弁当ですが、知らないことが知れる有意義な工場見学でした。　株式会社エルテックス　大橋朗大

障がい者雇用&活躍に関するセミナー【異能が輝く社会を創る】

開催日：2022年9月13日（火）
女性活躍ダイバーシティ委員会

「異能が輝く社会を作る」というテーマで株式会社デジタルハーツプラス取締役の畑田さんよりお話しいただきました。

株式会社デジタルハーツプラスでは「誰一人取り残さない取組」のもと、就労困難者の適正を見いだし人材育成を図っており、様々な境遇の方が能力を発揮しています。

障がいとは主に、知的、身体、精神と3つに分かれており、症状はもちろん異なりますが、配慮の仕方も異なり一律の対応が難しいという側面があります。

現在、発達障害と診断された方が推計で140万人おり、その人材を活躍できないことの損失が2～3兆円と試算されているとの話がありました。

今後、少子高齢化が進み労働人口が減っていく中で、このような人材を取り入れ活躍できる環境を整えていく必要があると感じました。　株式会社アプリコット　長谷川祐作

先端技術研究会2021取り組み実績

技術委員会

技術委員会　先端技術研究会2021は、7項目のテーマ（クラウド、自然言語、AI×異常検知、VR、深層生成モデル、ブロックチェーン、IoT）で幹事会社に運営いただき、総勢80名の参加者で実施しました。各幹事会社が創意工夫をして、最新技術の開発環境構築やクラウド技術、無償ライブラリ等を有効に活用し、全6回程度の中で今後活かせる技術習得を行いました。

■＜クラウドネイティブなアプリケーション開発・Docker、Kubernetesを使ったコンテナベースのアプリケーション開発手法の研究＞（株式会社アイネット）

講義およびデモンストレーションをしながら、DockerおよびKubernetesについての理解を深めていきました。また、題材を提示して実際の開発作業をしながら技術習得を行いました。

■＜広がり続ける「自然言語処理」の可能性の研究（AI）＞（株式会社メビウス）

人工知能（AI）の歴史、自然言語処理の概要やサービス作成の考え方、技術要素等の座学時間をとりアプリケーション開発に向けた理解促進を行いました。その後、配布されたデモアプリの拡張や新規アプリケーション開発を行いました。

■＜AI×異常検知の研究＞（株式会社ジェイエスピー）

AIの歴史や学習データの揃え方などについてグループワークを通じて学んでいきました。その後、実際に手を動かしながらテーマに対する技術習得・向上を行いました。

■＜VR技術を使ったアプリケーション開発方法の研究＞（デジタルコム株式会社）

開発環境やサンプルを講義形式で進めながら、技術習得を行っていきました。後半は、各自テーマを決めて開発し、技術習得を行いました。

■＜深層生成モデル研究＞（株式会社クラフトワーク）

深層学習やAIについて説明し、チュートリアルを使った深層学習の実践を行いました。その後、各自深層学習のプログラミングを行い、質問・相談などをして進めていきました。

■＜ブロックチェーンの応用検討＞（株式会社エーアイネット・テクノロジ）

ブロックチェーンの基礎的な知識・技術の理解を目的とし講義を実施。また、実際に利用されている内容を知る目的で、ハンズオンを行いました。

小グループにてディスカッションし、意見交換しました。

■＜IoTの基礎＞（株式会社ゼロワン）

基盤への部品実装（はんだ付け作業）等からPCへ開発環境を構築し実際のプログラミングを通して技術習得を行いました。こちらの研究会については、部品実装等を行うことからリアル開催となりました。

また、本年9月より先端技術研究会2022を以下の6項目のテーマで幹事会社に運営いただいております。

■＜コンテナ技術の研究　DockerやKubernetesを使ったコンテナベースのアプリケーション開発手法の研究＞（株式会社アイネット）

■＜顔認証の基礎学習と応用検討＞（株式会社エーアイネット・テクノロジ）

■＜深層学習＞（株式会社クラフトワーク）

■＜FlutterによるUI開発の研究＞（株式会社ジェイエスピー）

■＜画像向け機械学習ライブラリ（Mediapipe）を使ったアプリケーション開発手法を研究する＞（デジタルコム株式会社）

■＜AWSを用いたLINE Botの実践と活用の研究＞（ノックスデータ株式会社）　デジタルコム株式会社　高橋修司

ものづくり×ICT連携フォーラムinかわさき

開催日：2022年9月15日（木）
川崎市交流委員会

川崎市工業団体連合会（工団連）と合同主催（川崎市・公益財団法人川崎市産業振興財団が共催）している本フォーラムも7回目となりましたが、オンライン（Zoom）での参加者も含めて128名にご参加いただきました。今回は「デジタル化の力で多彩な経営課題を解決」をテーマに、神情協会員企業である株式会社HTKエンジニアリングの「中小企業を対象とした外観検査システム導入による生産性向上の実現」を始め、5社のシーズプレゼンテーションがありました。会場ではシーズ発表企業とシーズに興味を持つ希望者とのマッチング会も開催されました。

冒頭に坂井会長より「ものづくり産業は重要で、ICTと連携することで更に価値を高めることができる」と開催挨拶があり、本フォーラムでも、ものづくり企業との連携によって様々な問題解決、デジタル化の推進、生産性向上などを狙いとしています。また、川崎市による知財交流会等の充実した行政支援とも連携することにより、企業が単独で活動する以上の効果や付加価値の向上を図ることも目指しております。シーズの発表やマッチングの機会が活用されることにより、更なるイノベーションの創造やビジネスの発展が期待されます。

株式会社アプリコット　長津寛之

第5回CTF競技会

開催日：2022年10月4日（火）
技術委員会

第1回技術イベントとして、今年もCTF※体験セミナーが開催されました。今回もZoomによるオンラインでの開催となり、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、全16チームで学びを深めながら勝敗を競うイベントとなりました。

今回の出題テーマは「攻撃者」。攻撃者の考え方を理解することでサイバー攻撃の実態を学ぶということを目的に、SQLインジェクションやディレクトリトラバーサルを用いてデータを盗む問題などが出題されました。競技終了後は、講師のアルファ・ウェーブ柴山さんから各問題の狙いなど丁寧な解説をしていただき、参加者、見学者共に攻撃者から大事なデータを守るためのセキュリティ対策について、改めて考えさせられるとても有意義なイベントになったと感じました。

昨年全問正解が5チームでたこともあり、今年は柴山さんからさらに工夫やひねりを加えた問題が出題され、各チームの得点推移からも苦戦する様子が伺えました。そんな中で今年も全問正解を成し遂げたeltexTopGunチームには拍手を送りたいです。上位3チーム（1位 エルテックス eltexTopGun、2位 エルテックス eltexYoungGun、3位 アルファ・ウェーブ まさ密）の表彰とトロフィー授与、優勝チームの感想をいただき閉会となりました。

ニューテック株式会社　荒木良介

途中経過

解説

準　優　勝

優　勝

３　位

※Capture The Flag：コンピュータセキュリティに関する様々な問題を解く事で技量や知識を競うイベント

シリーズ会員企業訪問

■ヒューマンズ・ネット株式会社

弊社は、1997年に独立系のシステム開発会社として創業し、今年で26期目を迎えました。昨年は、横浜オフィスを開設し、積極的に事業を拡大しております。

これまで、ストレージをはじめとした組み込み制御や物流関連システムの開発など、幅広い分野で技術力を高めてまいりました。これからも、技術力に一層の磨きをかけ、顧客満足度の高いサービスを提供することによって、世の中をより持続可能に、より便利に、より人々が幸せに生きられる社会をめざして貢献していきます。

また、DX時代においては、積極的に最先端のIT技術を希求し、より広い視野で、世の中の変革・人々の豊かな暮らしの実現に貢献してまいります。AWS・Azure等に代表されるクラウドの技術習得を推進し、EC関連・AI・セキュリティーの分野にも積極的に参画していくので、高度IT人財を育成し、様々なシステムやアプリの高度化、および、開発効率化に取り組んでおります。

そして、これらを確実に進めるために、従業員やご家族、ビジネスパートナーなど、全てのステークホルダーが心身ともに健康である事が不可欠であると捉えています。健康で安心して働ける環境の維持と改善に努めていき、健康経営を積極的に推進いたします。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

設　立：1997年4月3日
資本金：5千万円
売上高：21億円
社員数：190名
住　所：神奈川県小田原市本町1-4-7
　　朝日生命小田原ビル
Tel：0465-24-7500
URL：https://www.hm-net.co.jp/

■株式会社アイネット・データサービス

株式会社アイネット･データサービスは、障がい者雇用の促進を図ることを目的に株式会社アイネットの子会社として2009年4月1日に設立。同年8月3日に厚生労働大臣より特例子会社として、翌年5月には関係会社特例の認定を受け、アイネットグループの一員としてサービスを提供しております。

企業理念は、社員の「①自立、②成長、③自律」です。社員が、①自らの力で社会人として独り立ちできること、②自らの目標に向かい努力することで成長すること、③自らの考えに従って行動できること、を目指しています。社員個々人の特性を理解して活かしつつ、社員が主体的に挑戦し、成長を続けられるよう共に歩んでいます。

当社は、主に「スキャニング」による紙情報のデータ化、取引情報やアンケート結果等の「データ入力」、「キッティング」「名刺作成」「HDD消去業務」等のサービスを提供しており、IT関連特例子会社としての職域開拓に努めております。

これからも、社員が幸福で満たされる環境づくりと、それにより質の高いサービスを提供できるよう目指し、障がいのある方も安心して働き続けられる社会への取り組みを進めてまいります。

設　立：2009年4月1日
資本金：9百万円
社員数：27名
住　所：横浜市戸塚区舞岡町644-12
Tel：045-820-5897
URL：https://www.inet-d.co.jp/

■株式会社アイセル

1989年の創業以来、企業様向けのシステム･ソフトウェアの開発に従事してまいりました。お客様もまだ気づかれていない潜在的な課題とその解決策を提案し、お客様の「満足」から「一歩先の満足」を感じて頂けるようなサービスをご提供できる企業であるよう、長期ビジョンとして「顧客満足」の一歩先へ、中期ビジョンとして「ITサービス×ワンストップサービス」を掲げております。

ITが進化したことで激変したビジネス環境において、お客様の事業変革や成長ニーズにお応えすべくDX戦略を策定し、様々なシステムの設計･開発を担っております。

●ペーパーレス化と情報連携による業務改善
→点検業務×DX

●在庫管理コスト削減とシームレスな在庫管理
→在庫管理×DX

●データ連携による業務効率化
→文書電子化×DX

また、高度･複雑化するサイバー攻撃からお客様の情報資産をお守りする各種セキュリティシステム（AppGuard、FinalCode等）の販売･導入支援など、時代や環境によって変化するお客様のニーズに合わせたITサービスを提供させていただいております。

神情協の皆さんと是非一緒に共創できますよう今後とも宜しくお願い申し上げます。

何かご要望がありましたらお声がけいただければと思います。

設　立：1989年1月25日
資本金：1億円
売上高：12億7,900万円
社員数：151名
住　所：東京都台東区上野3丁目24-6
　　上野フロンティアタワー12F
Tel：03-5652-5236
URL：https://www.aisel.ne.jp/

賛助会員紹介

当ホテルではご婚礼・ご宿泊・ご宴会とお客様の様々なニーズに合わせたお手伝いをさせていただいております。神奈川県情報サービス産業協会様には2020年7月に賛助会員として入会させていただきました。

■対応サービス

当社は今年で33年目を迎え、横浜の中心に位置するデザイナーズホテルとして、地域の皆様に支えられながら現在に至っております。

客室数154室、宴会場は10名収容の小宴会場から240名収容の大宴会場まで、9会場をご用意しております。

ホテルに備えておりますチャペルでは、延べ3000組以上の方々のご結婚式をお手伝いさせていただき、ご宴会においては地域の各企業、団体様の会合などは勿論、個人的なお祝い事、またご法要などお客様のニーズに合わせてお手伝いをさせていただいております。

ホテル一番のこだわりは料理。「料理のライブ感」と「お客様のご要望を具現化する」こと。世界各国の珍しいグルメ食材を集め、五感で満足いただける料理を最高のタイミングでご用意させていただきます。

また、現在のコロナ禍でWEB配信を行う会議、講演会が圧倒的に増えたため、各宴会場それぞれに有線LAN回線を配置し、お客様にスムーズなオペレーションでご利用いただけるよう心掛けております。

■メッセージ

ご宿泊においては「泊まる」ではなく「暮らす」をコンセプトにデザイン性にこだわったお部屋をご用意しており、ゲストの皆様にご滞在の時間をよりリラックスしてお過ごしいただけるよう、「豊かな時間の過ごし方」を提案しています。

ご宴席においては、100のパーティーがあれば100通りのパーティースタイルがあります。

大切な行事やお祝いに合わせて、お客様にご満足いただけるようなパーティー・ご宴会をご提案いたします。

会議や講演会、公演、ショーを始め、ご家族でのお食事会や女子会まで、様々なご用途でもご利用いただけますので、是非、ご相談くださいませ。

皆様のご利用をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

神情協担当：柴田真樹　電話045（314）5546

新会員 INFORMATION

■正会員
株式会社ワールドインテック
東京都港区東新橋
代表　齋藤　謙治
https://www.witc.jp/corporate/corporate/
TEL 03-3433-6621
業務　人材派遣を通じ各種クライアントIT事業支援

■正会員
株式会社ガリバー
横浜市中区長者町
代表　王　剣鋒
https://www.calibur.co.jp/
TEL 045-328-7655

業務　ソフトウェアの受託開発

■正会員
ソリューション・ラボ・ジャパン株式会社
横浜市中区太田町
代表　森原　達夫
https://www.slj-net.co.jp/
TEL 045-663-1251
業務　ソフトウェア開発

■正会員
ドローン・アイティー株式会社
横浜市磯子区汐見台
代表　金子　信洋
https://www.mitsuiwa.co.jp/
TEL 045-515-2285
業務　1）ドローン導入支援コンサルタント
2）ドローン利活用のソリューションサービス提供
3）認定講習　横浜ドローンアイティー・スクール運営

■賛助会員
株式会社CAP総研
東京都千代田区三番町
代表　髭　彰
http://www.capsk.jp/
TEL 03-6272-9370
業務　教育研修授業／組織活性化コンサルティング事業
エニアグラム心理学を応用したヒューマンスキル研修を中心とした自己開発研修、マネジメント研修、チームビルディング研修等の企画、設計、実施。組織活性度調査に基づく組織強化コンサルティングの実施。

■賛助会員
株式会社リスキル
東京都新宿区新宿
代表　松田　航
https://www.tech.reskill.jp
TEL 03-5368-3889
業務　IT人材育成事業・企業内人材教育事業

広報委員会コラム

日頃の「ツケ」を感じました！

コロナも静まらぬまま、9月下旬に戸塚法人会青年部で講演をしてきました。「中小企業における広報とは？」というお題で、どこかで聞いたことがあるようなテーマなのですが、ニュースリリースの書き方、伝え方などをメインにした内容で、オンライン併用でした。皆さん、参考になったのか？冗談を言っても笑ってくれる人がいるのかいないのか？・・・と、ふわついた気持ちで帰宅しました。何度やっても慣れないものでした。（ちなみに、私は横浜中法人会の会員。法人会とは税務署管轄の団体です。かといって、脱税？などは見過ごしてくれないので予め）

さて、KIAでの広報セミナー講師をさかのぼると、元エルテックスの社員でした中澤さん、エルテックスの六角さん、今回のCIJの伊藤さんらが、いかに凄いかを思いました（オンラインで60分なりを一方的に話すこと（キャッチボールがない）って大変です。さらに準備も）。

今回私は引き受けるにあたり、コロナを理由に講演自体をやめた方がよい！などと戸塚法人会の担当者らに話して、かなり抵抗しました。資料作成がとにかく面倒でしたし、人前で60分以上話をするってしんどいなぁ、そして日頃KIAのみならず、各種団体の委員会などで、気軽に講演を頼んでいた「ツケ」が回ってきたことを感じました。

人前で話す講演というのも、慣れが一番と、講演をプロとしておこなっている方々は話をされます。私も一般の方よりは、少しは多い気がしておりますが、未だに慣れないものです。

そんな中、KIAもそうですが、多くの講演者を簡単に依頼しておりましたが、講演者の気持ちも汲んであげないといけないなぁと、お受けしてくれた方々にさらなる感謝を申し上げねばならないと感じました。

日頃の「ツケ」を痛感させられた講演会でした。

広報委員長　福井二郎

発行所：一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会　広報委員会
電　話：045−316−2244　　FAX：045−316−2246
印刷所：YAQ